

令和7年10月10日（金）

お知らせ

学 校 名	県立倉敷天城高等学校
担 当 者	1年次主任 川崎 優紀 教 頭 迫田 実俊
電話番号	(086) 428-1251

被爆者の方からお話をうかがい、平和について考えます
ノーベル平和賞受賞 日本被団協による講演会

今年は終戦から80年目となる節目の年です。長年の活動を評価され、昨年、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）はノーベル平和賞を受賞しました。

年を経るごとに、戦争を実体験した方々が少なくなりつつあることが平和教育の課題で、いかにして次の世代に語り継いでいくかということが問われています。

このたび、日本被団協岡山県原爆被爆者会倉敷支部の方々に来ていただき、その体験談をお聞きする機会を設けることができました。被爆体験者のお話を聴いて、生徒がどのように受け止め、今後に向けて何を考えるか、その様子をぜひ取材していただきたいと思います。

なお、同団体は小中学生等への講演活動は実績がありますが、高校生に対する講演は初めてとのことです。

記

- 1 日 時 令和7年10月20日（月） 14:45～15:55
- 2 会 場 倉敷天城高等学校 第1体育館（倉敷市藤戸町天城269）
（1階正面玄関に入って事務室にお越しください。）
- 3 参 加 者 本校1年次生240人、教職員
- 4 内 容
 - ・概略説明（10分） 世羅憲司さん（倉敷被爆者会会長、被爆地：広島、当時0歳）
 - ・講 演（40分） 佐藤圭一さん（被爆地：広島、当時17歳）
 - ・質疑応答等
- 5 そ の 他 取材を希望される場合は、事前に担当者までご連絡ください。